

会報ノート

山岳会の会報をお送りください。
会報ノート欄では
優れた会報に年度賞を贈ります。
会報の巻末には連絡先を
お忘れなく。詳細は209ページの
「岳人賞作品募集」を
ご参照ください。

自らの目で見、山頂へのルートを

創造してきた先人たちの力を実感
させる。記録としても貴重な。

後半は、日本列島中央分水嶺・

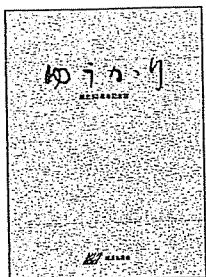
大弛峠～野辺山駅付近までの踏査。
支部山行、山岳講座の歩みなど。

〒400-0118 山梨県甲斐

市竜王3022-1 古屋寿隆方

横浜友雁会

「ゆづかり」50周年記念誌
B5判116ページ



半世紀もの長きにわたって活動
を続けてきた横浜友雁会の記念会

報。記念山行の記録や友好団体、
そして会員の声が集められる。

記念山行はボルネオ・キナバル

山で2編の報告文を収録。さらに

5年前の45周年記念の北アルプス

リレー縦走も掲載された。朝日岳

から延々前穂高岳まで、北ア核心

部踏破のあらましがまとめられる。

交流団体の秋田ぶな森山友会と

の合同山行は99年から6回実施さ

れ、東北と関東周辺の山々を10年

間一緒に歩いた様子が綴られる。

後半は会員エッセー。劔周辺の

山小屋アルバイト体験記が、小屋

の内部事情を詳しく教えてくれる。

スタッフが家族のようにまとまっ

ている小屋は、泊まっても快適そ

うだ。毎号、ここのデザインは洗

練されている。

〒242-0024 神奈川県大
和市福田1-24-1 堀江精三郎
方

日本ハイキング倶楽部

「部報」104号
B5判170ページ



東京都山岳連盟に所属、安全登

山に配慮しながら活動する日本ハ

イキング倶楽部の年報。山の楽し

み、ふれあい、安全登山座談会と、

役立つ記事がつまっている。年配

者が山に親しもうと入会してくる

ケースが目立つ会事情ゆえ、安全

登山への啓蒙内容が目立つ。

労山、都岳連の遭難担当者に聞

いた、事故者の実情や注意点が面

白い。中高年というより、高年登

山者が増えたこと。男性は70代ま

で登るが、女性は体力が衰えた60

代以降は別の趣味に移る人も多い

という最近の現状をまず紹介。

これからの遭難対策は、60代、

70代の実態に即したアプローチが

求められること。自分というもの

ができあがっている高齢者に、い
きなり講習といっても難しく、普
段から有益情報や遭難対策の関わり
方を伝える、倶楽部の雰囲気を作
る、というのが現実的だという。

さらに、筋力の衰え、装備の軽
量化、地図、気象、ロープワーク
といった、テーマに特化した訓練
山行の実施。最新の有益な情報を
得ることも大切、と適切なアドバ
イスが続く。事故情報開示につい
ては、個人情報保護という視点よ
りも、客観的な情報として共有す
る、という意識を持つことが大事
と考え方を提示。募集型登山が中
心の会活動に、大いに参考になる
内容だ。

〒245-0016 神奈川県横
浜市泉区和泉町6226-11 中
村吉孝方